

科目名	看護科学演習 II Advanced Seminar in Nursing Science II		
授業形態	演習		
標準履修年次	2年次		
実施学期・曜時限等	秋ABC学期 応談		
単位数	1単位		
担当教員名	教務委員長 副指導教員		
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)			
オフィスアワー等	随時(メールで予定確認の上訪問すること)		
授業の到達目標 (学習成果)	自らの研究課題を設定し、研究概念枠組みを組み立て、作成した研究計画書に そって研究を進める上での課題等を明確にして改善し、科学的根拠に基づく独創 性の高い論文を作成することができる。		
他の授業科目との関連			
履修条件	研究計画書審査に合格していること		
授業概要	看護科学発展のためのリーダーシップ能力や自立して研究活動や論文作成がで きる能力を養うために、各自の研究課題の独創性や新奇性について、根拠をもって 発表し、建設的に討議をおこなうことで、研究遂行能力を探究させる。		
キーワード			
授業計画	1.研究計画書にそった研究の進捗状況の発表とディス カッション 自らの研究計画書に沿って進めている研究状況を発 表し、討議を通して、自らの研究上の課題、改善点を明 確にする 2.修正した研究の進捗状況の発表とディスカッション 前回の討議で指摘された問題的等に関する改善方法を 基に、修正した自らの研究について発表・討議すること により、論文作成技法等を習得する。 3.(学生の進捗に応じて回を追加することがある)	10月初旬 (応談) 11月初旬 (応談) 応談	副指導教員 副指導教員 副指導教員
学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法	各自研究指導教員及び副指導教員からの継続的な指導を受けるとともに、研究論 文を進めている他の学生との討議を重ねるなど切磋琢磨し、互いに励ましあって学 修する環境を醸成すること。		
成績評価方法	発表・討議内容100% 1.研究計画に基づいて、自らの研究の独創性や新規性を説明することができる。 2.研究計画にそって研究を進めていく上で生じる課題を明確にできる。 3.上記2で明らかになった課題を解決し、研究計画を改善できる。 4.他の学生の発表内容について、建設的な視点でクリティークすることができる。 上記1から4について各25点満点(何等かの形で実行できていれば15点、科学的研 究を行う者の視座に立ちその基準に十分に達している場合は25点)で、授業担当 教員(受講生の副指導教員)が採点を行い、全体から求めた平均点により評点す る。		
教材・参考文献・配布資料等			
その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	遅刻、途中退出、やむを得ず欠席する場合の扱いについては、受講生の状況を鑑 みて決定する。		